



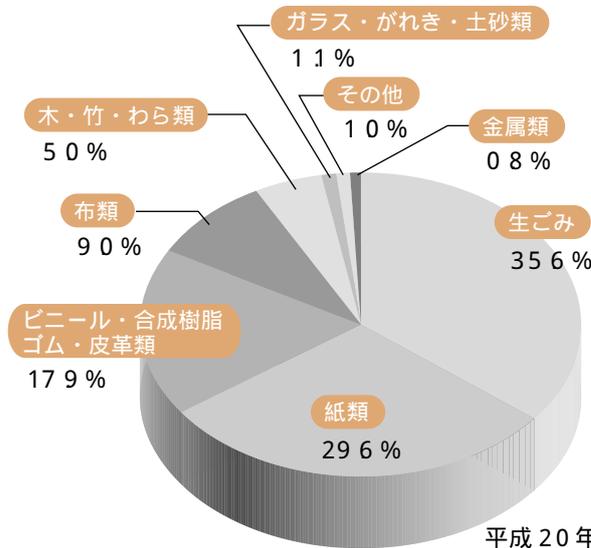
ご存じですか？ごみの中身！

7月号で三豊市のごみの量についてお知らせしましたが、1年間で約14,000tもの燃やせるごみが出されていることに驚かれたのではないのでしょうか？
ところで、こんなにたくさんのごみの中身はどうなっているのでしょうか？
ごみを減量・リサイクルするには、ごみの中身を知ることが大切です。

『燃やせるごみ(可燃ごみ)』の中身

三豊市の『燃やせるごみ(可燃ごみ)』排出状況を把握するため、今年3月に本庁および各支所近隣のごみステーションから燃やせるごみを一定量ずつ回収し調査しました。

三豊市の燃やせるごみの組成



生ごみの水分を！

皆さんは、燃やせるごみの中身で一番多いものは何だと思えますか？燃やせるごみの成分で一番多いものは、生ごみです。この生ごみの水分が、ごみ処理の敵です。

焼却施設でごみを焼却する時に、生ごみの水分が多ければ、ごみ処理をするためにたくさん燃料が必要になってきます。燃料をたくさん使うと二酸化炭素の排出が増えるなど、環境への負荷が大きくなります。家庭ごみの水分を完全になくすることは不可能ですが、水分を減らすことはできません。

生ごみの水分を減らすには？

台所の三角コーナーでの水切りに加えて、ごみ袋へ入れる前にさらに「ギュッ」と絞ることによって約1割の水分が抜けます。

スイカやメロンなど果物の皮は、小さく切って2〜3日乾かすと水分が減ります。さらに、EM菌を活用してたい肥にすると質のよい肥料になります。

電気式生ごみ処理機(購入補助有り)の活用によってごみの減量にもなります。

『紙製容器包装』の分別で減量化

『燃やせるごみ』の中身で、生ごみの次に多いのが紙類です。PTAなどのリサイクル活動で集めている以外で、全体の約30%を占めています。

この紙類の中にはお菓子や冷凍食品の空き箱などが含まれています。これらの紙の中で、紙マ

1月の表示がある紙を10月からは分別収集します。分別して出された紙類は、お菓子の箱や絵本、段ボールなどに生まれ変わります。そのまま出せばごみとなってしまう紙類も分別すれば再利用できます。お菓子の空き箱などの紙は『燃やせるごみ』ではなく『紙製容器包装』に分別してください。



お菓子の箱、小売店の紙袋、包装紙、内側が銀色の紙製容器、ワイシャツ・歯ブラシなどの台紙、カップ麺の紙容器など

『紙製容器包装』の出し方



マークの確認。
中身を完全に使いきり、汚れを取り除く。
紙の袋や透明または半透明の袋に入れたり、紙ひもで束ねたりしてごみステーションへ出してください。

プラスチック製容器包装も分別

すでに、プラスチック製容器包装の収集に取り

組んでいる地域もありますが、「燃やせるごみ」や「燃やせないごみ」の中にたくさんプラスチックなどの合成樹脂（ビニール）が含まれています。このうち『燃やせないごみ』の表示があるものを10月から市内全域で分別収集します。カップ麺の容器や食品トレイ、お菓子の袋などがあります。これらの中で『燃やせないごみ』の表示のあるプラスチックをリサイクルします。分別して出されたプラスチック類は、固形燃料として利用されます。



豆腐や卵のパック、弁当の容器、食品トレイ、シャンプーや洗剤の容器、お菓子の袋、ペットボトルのキャップ・ラベル、果物のネットなど

『燃やせないごみ』マークのないもの（洗面器、歯ブラシ等）は、「燃やせないごみ（不燃ごみ）」で出してください。

『プラスチック製容器包装』の出し方



マークの確認。
中身を完全に使いきり、汚れを取り除く。
透明または半透明の袋（中身が確認できる袋）に入れてごみステーションへ出してください。
トレイは、販売店などの回収ボックスを利用してください。

以上のように生ごみを水切りしたり、ルールを守って正しく分別をしてごみを出したりすることは、私たち一人ひとりの意識によって、ごみの減量化と限りある資源を有効に利用することになります。

ごみの正しい出し方にご協力をお願いします。



10月からの「ごみの分別方法」をみんなで確認しました（比地大小）

問い合わせ 環境衛生課 73・3007

次回は、『いよいよスタート!! 新ごみ分別』についてお知らせします。

9月末までは、各町で決められた出し方に従ってください。

